

## 交換留学帰国報告書

記入月日: 平成30年7月20日  
氏名: 大戸 彩未  
留学時所属&学年: 国際地域学部国際地域学科3年

留学先大学	東呉大学
留学先国	台湾
留学期間	1学期間
留学開始ー終了日	2018年2月22日ー2018年7月3日

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

帰国報告書：公開を  希望します ・ 希望しません

月例報告書：公開を  希望します ・ 希望しません

### 【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

自分の語学力を伸ばしたかったから。また、海外の日本語学習者に興味があったから。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

3年生の前期に留学しようということは決めていたので、2年生の夏頃から具体的な行き先を考えるためにいろいろな大学について調べ始めました。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

英語圏に行きたかったのですがまだ協定校がなかったので、第二外国語として履修していた中国語の力を伸ばしたいと思い、台湾を選びました。また、高校生の頃から日本語教育に興味があったので、日本語学科で有名な東呉大学に決めました。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

TOEFL は1年生の4月から8回か9回受けました。試験対策は、自分で TOEFL のテキストを使って勉強したり、レーナー先生の TOEFL 講座で勉強したりしました。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例:助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

どの大学を志望するか迷っていた時に国際課に相談したら、いろいろな大学のパンフレットを見せてくださり、情報を提供してくださったので大学選びの参考になりました。また、留学先の大学のホームページで、どのような授業が受けられるのかや大学の施設の説明などが英語で書かれていたので良かったです。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

留学先の大学の授業で履修したい授業を選んでから、福井大学で単位交換できそうな授業を探したのですが、シラバスの情報が少ない授業がいくつかあったので難しかったです。

## 【留学中:大学生活や日常生活について】

### A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

大学の一番大きい建物に広いスペースがあったのですが、サークルや学科のイベントが頻繁に行われていて、にぎやかな日が多かったです。また、昼休みや空きコマには外の大きな階段に座ってご飯を食べたりおしゃべりしたりしている学生がたくさんいました。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

大学構内はどこでも Wi-Fi を利用することができました。図書館に広い自習スペースがあり、テスト期間は24時間開放されていて多くの学生が夜遅くまで利用していました。体育館は部活でもお金を払わないと使えないと聞きましたが、ジムや外のバレー・バスケ・テニスコート、トラックは自由に使えていました。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

私は日本語学科の女子バレーボール部に参加していました。部員数は私ともう一人日本人留学生を含め15人でした。毎週月曜日と水曜日に17:30~22:00まで練習していました。東呉大学は学科ごとに部活のチームがあるので、5月5日に大学のバレーボール大会がダウンタウンキャンパスで行われました。

## B. 授業や勉強

### 1. 留学先で履修した科目

No.	科目名	担当教員名	時間数/ 週	単位数	クラス内 の人数	授業内容、課題 (予習・復習など)
BNA04202	Beginning Chinese (II)	莊媛婷	50分×5/ 週	5	11	授業内容:教科書に沿って初級レベルの 中国語の学習。 課題:単語を覚える・作文・教科書を読ん でおくなど。
BCN55601	Gender Studies	谢静国	50分×2/ 週	2	9	授業内容:毎時間生徒が1人か2人でテ ーマに沿ったプレゼンをして、その内容につ いてクラスでディスカッションをする。テー マはLGBTQ・ファッション・同性結婚など。 課題:なし
BSO27101	Mental Health and Social Relationships	范纲花	50分×3/ 週	3	15	授業内容:精神病と人種・階級・年齢・性 別などの関係性や、施設・病院・法律など について。講義形式。 課題:毎週教科書を1チャプターずつ読ん で、疑問や感想をメールで送る。
BNA06202	Social Policies in East Asia	李淑容	50分×2/ 週	2	24	授業内容:東アジアの福祉政策について。 講義とグループディスカッション。 課題:教科書のチャプターを読んでくる。
BNA06102	Contemporary East Asian Cultures and Societies	何撒娜	50分×2/ 週	2	26	授業内容:東アジアの国々の文化につい て毎週2~3人がプレゼンテーションをし、 その内容についてディスカッションをする。 課題:なし
BJP31602	Introduction to Japanese Culture	彭思远	50分×2/ 週	2	30	授業内容:年中行事や文学・美術・アニメ などの日本文化について。講義の最後に 少しグループディスカッションを行う。 課題:なし

### 2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

中国語の授業では、ノートにたくさんメモをするように心がけました。他の授業ではディスカッ  
ションが多かったので、話し手の言いたいことは何か正確に理解できるように努力しました。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

課題の英文を読む量が多くて大変だったので、集中する時間を決めて時間を測りながらしました。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

毎時間生徒がプレゼンテーションをして、その内容についてディスカッションをするという授業がいくつかありました。日本ではほとんどが講義形式の授業なのでディスカッションの時間を多く設けることは英語の練習にもなっているいいと思いました。しかし、授業では先生からなにか知識を教わるのが当たり前だと思っていたので、自分たちで話し合うだけで何も専門的な知識が得られないということに関して違和感がありました。

5. お薦めの教員や授業などがありましたら教えてください。

Beginning Chinese (Ⅱ)は、初級の授業なので福井大学で既に学習した内容も一部ありますが、授業はすべて中国語で行われるためリスニングの練習ができ、また少人数クラスなので毎時間たくさん話すことができるので、日常生活で使える能力が身につきます。先生も面白いです。単位交換はできませんが、中級の授業を全て中国語で受ける自信がないという人にはおすすめです。

### C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他( )
部屋人数	( 4 )人部屋
寮・アパート名	楓・雅楼
家賃に含まれた費用	<input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他( )
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他 ( )
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) トイレ・シャワー室・洗濯機・乾燥機・キッチン・ラウンジ・自習室・パソコン室

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

大学内に ATM・郵便局・コンビニ・マクドナルドがあります。スーパーへは歩いて 15 分くらい。バスだと 5 分くらいで行けます。大学が山の中にあるので、外出するときは基本バスを利用しました。バスは大学の構内から乗ることができます。スーパーの近くに日本のレストランもあります。また、違う方面にバスで 5 分くらい行くとショッピングモールもあります。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

現地での銀行開設はしていません。日本で楽天銀行を開設し、Visa カードで ATM から台湾ドルを入手していました。1 か月 1 万ドルくらいで生活できていたので、5000ドルずつ月に 2 回くらいのペースでおろしていました。日本学生支援機構からの奨学金は福井銀行に振り込まれていたもので、親に頼んで毎月福井銀行から楽天銀行にお金を移してもらっていました。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

教室や寮の部屋の冷房が効きすぎて寒いことが多かったので、ひざ掛けを持参してよかったと思いました。シャンプーや洗剤・生理用品などの日用品は、台湾でも日本と同じものを買うことができるので、持参しなくてもよかったです。2 月下旬の出発でしたが、コートやマフラー・手袋は最初の 2 週間しか使わなかったもので、寒さに耐えられる人はなくても大丈夫だと思います。日本で使っていた中国語の教科書類は復習に使うことができたので持参してよかったです。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨=NTD(New Taiwan Dollar))  
(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	66000 円	食費	NTD20000
保険代	81660 円+NTD525	家賃	NTD20000
予防接種・ビザ代	21300 円	教科書代	NTD650
交際費(外食等)	NTD3200	その他	19130 円+NTD8749

合計:188090 円+NTD53124

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

トイレトーパーを間違えて流さないように気をつけました。また、エスカレーターは左側を空けます。

#### D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

病院は利用しなかったのですが周辺にあるのかどうかはわかりませんが、大学内に保健室のようなところがあり、友達が体調不良の時にそこで診てもらい、薬をもらっていました。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

していません。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

大学のホームページに健康診断書の様式が乗っているので、それを病院に持っていき、抗体検査などをしました。健康診断書を英語で書いてもらえる病院を探さないといけませんでした。日本からは風邪薬・下痢止め・痛み止め・酔い止め・胃腸薬を持参し、痛み止めと酔い止めのみ服用しました。

#### 【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

留学前に設定した目標は中国語力を上げることと、日本語教育について学ぶことでした。少し曖昧な目標だったので達成できたかどうかはわかりませんが、中国語を話す力と聞く力が留学前と比べてとても伸びたと思います。留学前は文法ばかり覚えていて会話はほとんどできませんでしたが、留学中に一人で買い物に行っても大丈夫くらいにはなれました。会話の練習をするために、現地の友達と英語ではなく中国語でも話をするように心がけていました。もう一つの日本語教育について学ぶという目標については、日本語学科の学生に授業の様子や日本での留学経験などを聞いて、日本語学習者について知ることができました。留学を終えて変わったことは、日本の文化などを違う視点から見るができるようになったことです。今まで日本で生活しているときは当たり前のように思っていたことでも、違う国で長期間生活してみると、日本と微妙に違っているということなどにも気が付いたりしました。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

日本語教育について学ぶという目標に対して、日本語教師の仕事や経験などについてあまり学ぶことができませんでした。もっと自分から積極的に日本語学科の教授たちに話を聞いてみればよかったですと多かったです。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

中国語をもっと上手く話せるように勉強して、またもう一度台湾に行く機会があれば、現地の人も問題なくコミュニケーションが取れるように頑張りたいです。進路については、日本語教育に関わりたいというあいまいな目標しかないなので、他の大学の日本語教育を専門としている学科の先輩たちの進路などを参考により具体的に考えていきたいです。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

台湾には、日本のことが好きな人が想像以上に多くて、いろいろな人が日本語で話しかけてくれます。日本からの留学生も多いです。また、日本食のレストランがたくさんあり、日本の製品がたくさん売っているため、日本にいるときとほとんど同じように生活することもできます。でもせっかく留学に行くなら異文化に触れる機会が多い方がいい経験になると思うので、日本人の友達ばかりでなく現地の友達もたくさん作って交流したり、ごはんも台湾でしか食べられないものに挑戦してみたりするといいと思います。日本では多くの学生が放課後はアルバイトで忙しいと思いますが、留学中は放課後の予定がない日がほとんどなので、現地の学生との交流を増やすためにも、部活動に参加することをお勧めします。私は日本語学習者と交流がしたかったので日本語学科のバレー部に参加しましたが、東呉大学には英語学科や中国語学科など、学科ごとにそれぞれ部活のチームがあるので、自分が専門としたい分野の学科の部活に入れば語学なども学ぶことができるので良い経験になると思います。